

富士山のふもと、
富士吉田市。



山梨県の富士吉田市を含む郡内地域は、古くからの織物の産地。富士の水は染めに使うと発色がよいので、この産業が盛んになっていきました。江戸時代に誕生したと言われる羽織の裏地の甲斐絹(かいぎ)は、現代の郡内織物の技術力の高さのルーツにもなっています。歴史を紡ぎ今、新しいファクトリーブランドがこの地で生まれ始めています。



富士吉田のソウルフード 吉田のうどん

まだ手織で織物を織っていた明治初期、食事の準備をするのは男性の仕事でした。力のある男性が打つうどんは、独特のこしを持ち太くて硬さのある麺になりました。その後、商いとしてのうどん屋が少しずつ増えていきました。今も市内に多くあるうどん屋さんを巡るのもハタフェスの隠れた楽しみ!



ACCESS TO FUJIYOSHIDA CITY



息づく音が聞こえる
ハタオリマチに

HATAORI-MACHI FESTIVAL

ハタオリマチフェスティバル 2018

2018 10.6^{SAT} - 7^{SUN}

TIME: 10:00-16:00 (両日とも)

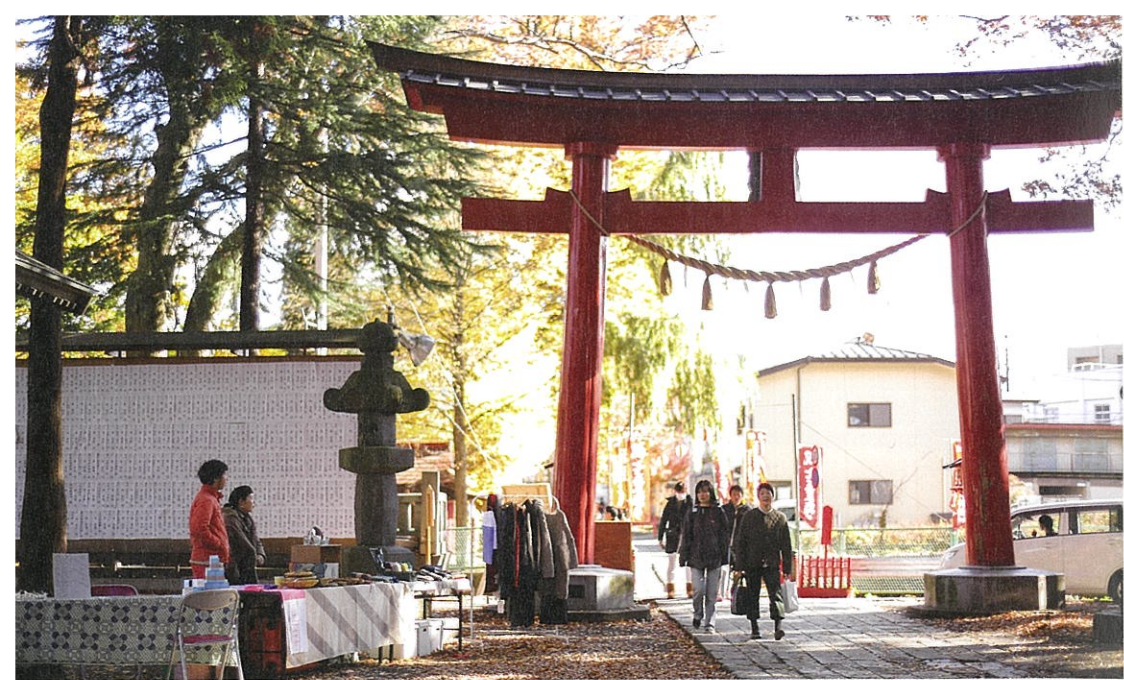
クロージングLIVE 10/7 17:00~

会場: 小室浅間神社 / 下吉田の商店街各所 / 新世界乾杯通り

主催 / ハタオリマチフェスティバル実行委員会

お問い合わせ / ☎0555-22-1111 (富士吉田市役所富士山課) fujisan@city.fujiyoshida.lg.jp

公式ウェブサイト hatafes.jp



★ HATAORI-MACHI FESTIVAL ★

富士山のお膝元、富士吉田市では富士山の湧き水を使って江戸時代から織物業が育まれてきました。多品種の織物を織る珍しい産地でもあり、近年ファクトリーブランドが多く台頭してきています。当時の機屋の面影を残す建物や、機屋さんが飲みに入ったであろう路地裏の飲屋街など、このまちだからこそ残っている風情もあります。今回で3回目となるハタオリマチフェスティバルは、そんな古き良きまちの中で開催する秋祭りです。織物工場のブランドと各地のファクトリーブランド、個人で作品を発表するクリエイターなどの合同マーケット「ハタオリ工場祭」、昔からの道具や廃材などに新しい息吹を吹き込んだりありのままの「古道具」を販売する「吉田のまちの道具市」の二つのお祭りを軸に、おいしいFOODの出店や音楽会、ワークショップ、まち歩きなど、住んでいる人も外から来る人も楽しめるお祭りを開催します。物や人から伝わるハタオリマチ、富士吉田市の魅力を再発見する2日間をお楽しみください。



ハタオリ大学展 【会場：下吉田の商店街各所】

富士吉田の織物ブランド台頭の礎をつくったともいわれる東京造形大学の学生と産地のコラボレーション企画「フジヤマテキスタイルプロジェクト」の10周年回顧展を世界的テキスタイルデザイナー、鈴木マサル氏監修の元、ハタフェス内で開催します。市内の商店街のスペースを使って10年の作品の展示と今年の作品の公開講習会のトークイベントも開催されます。



ハタオリ工場祭 【会場：下吉田の商店街各所】



産地の機織りファクトリーブランドと、外部のクリエイターやショップとのコラボレーションを下吉田商店街の店舗や空き家などを使って展開します。全国の織物を紹介する織物産展やワークショップ、工場を巡るバスツアーやトークイベントなども開催します。



よしだのまちの道具市 【会場：小室浅間神社 新世界乾杯通り他】

全国各地の古道具店や手しごとのよさを再発見するお店の出店や美味しい飲食店も揃います。今年はさらに機織りファクトリーブランドも交え、小室浅間神社を中心にして、街中にも出店店舗が広がります。古本市やクリエイターズマーケットも同時開催です。



6d スペシャル企画

ハタフェスではさらに街や食や文化を楽しむ企画が2日間に詰まっています。街全体を巡りながらハタオリマチを感じてください。



カフェアースのカメラ小屋

アキハタ発酵マルシェ

ハタオリマチの街歩き

クロージングライブ

ハタオリマチをめぐる、楽しむ企画はまだまだ今から追加、詳細が発表されます。当日の駐車場やリアルタイムな発信の確認はハタオリマチフェスティバル公式SNSとウェブサイトをご覧ください。



<https://www.facebook.com/hatafesjp/>



[hataorifes/](https://www.instagram.com/hataorifes/)

イベント詳細や出店者情報は公式 WEB サイトにて順次発表! **hatafes.jp**

毎月
第3土曜日
11:00-17:00
OPEN!!

TEXTILE FACTORY SHOP

ファクトリーショップ店舗情報

織物工場に併設されたショップがオープンしています。
工場がオリジナルで製造したファクトリーブランドの商品や
ここでしか手に入らない商品も数多くご用意しています。

工場見学は
要予約です



MUTO

HADACHU ORIMONO

舟久保織物

横田商店

kichijitsu / 光織物
山梨県富士吉田市松山 1-4-13
電話 0555-22-1384 (御朱印帳等)

kai's / 前田源商店
organic products
山梨県富士吉田市下吉田 2-25-24
電話 0555-23-2231 (オーガニックコットン)

MUTO / 武藤
山梨県南都留郡西桂町倉見 113
電話 0555-25-2814 (ストール)

ZABUTON TANABE / 田辺織物
山梨県富士吉田市富士見 4-6-45
電話 0555-22-0039 (座布団等)

Watanabe Textile / WATANABE TEXTILE / 渡邊織物
山梨県富士吉田市富士見 5-7-18
電話 0555-22-4240 (雑貨)

富士桜工房 / 山崎織物
山梨県南都留郡西桂町小沼 1697
電話 0555-25-2010 (ネクタイ等)

ALDIN / テンジン
山梨県富士吉田市下吉田 7-29-2
電話 0555-22-1860 (リネン雑貨)

舟久保織物
山梨県富士吉田市小見 2-20-18
電話 0555-22-2684 (傘)

横田商店 / 横田商店
山梨県南都留郡西桂町小沼 1717
電話 0555-25-3113 (傘等)

HADACHU ORIMONO / 羽田忠織物
山梨県富士吉田市上暮地 3-7-26
電話 0555-22-4584 (ネクタイ等)

TORAW / 渡小織物
山梨県富士吉田市富士見 5-5-52
電話 0555-22-1885 (ネクタイ)

ヤマナシ / ミルショップ / Q-STA 1 階
山梨県富士吉田市上吉田 2-5-1
電話 10:00-20:00 (年中無休)

Illustration : Junko Nakamura

WEAVING CITY
OF JAPAN



SINCE 967

Yamanashi proudly celebrates
its rich cultural heritage of traditional weaving.

イトとヒトがいきかうマチ

富士山の麓に広がる山梨県富士吉田・西桂にはハタオリがあります。

1000年以上変わらずに鳴り響くハタオリの音は街の宝物です。近年、歴史あるハタオリの文化は急激な時代の変化に対応することが難しく

世界に高品質な製品を供給している高い技術がありながらハタオリマチを取り巻く状況は厳しくなる一方となってしまいました。

涙を飲んで廃業していったハタオリマチの職人も数多くいます。

私たちは、何十世代も前の祖先が脈々と繋げてくれたハタオリマチを

次の世代に繋ぐため状況を変えなければなりません。

『ハタオリマチのハタ印』は、100年後も富士山の自然に囲まれた美しいハタオリ産地として、様々なヒトがいきかい、モノやコトが生まれる

活き活きとしたハタオリ産地を実現する為のプロジェクトです。

このハタオリマチをより良い形で次の世代に繋ぐため

富士吉田・西桂全体で新たな挑戦に取組み

その意思の印として「ハタ印」をかかげます。



世界に誇れる織物産地

山梨ハタオリ産地

富士山の麓、山梨県富士吉田・西桂は、織物を製造する技術力が高いことから、世界的に注目を集めています。

山梨ハタオリ産地は、モノを作りたい人、文化に触れたい人、全ての人に開いたハタオリ産地です。



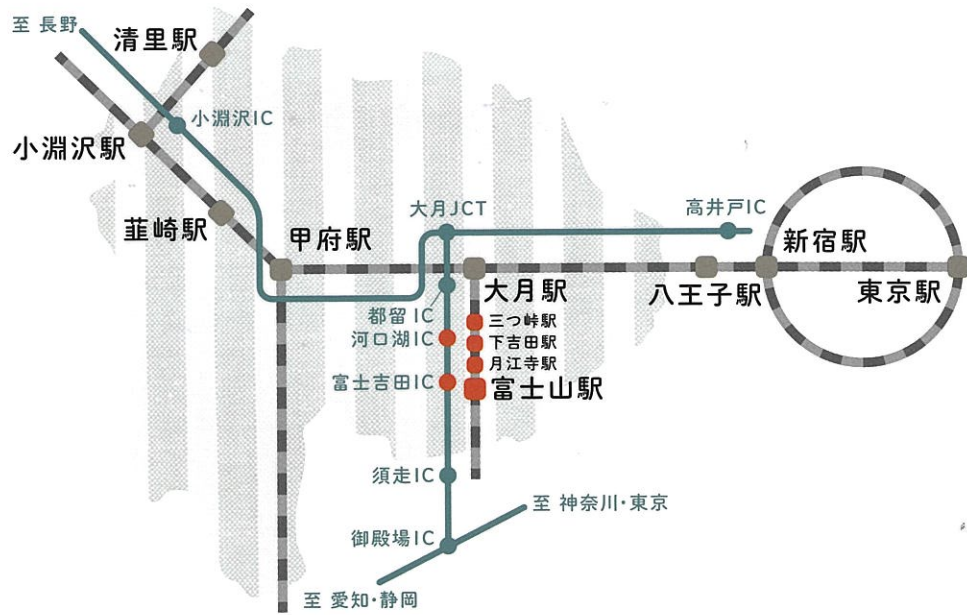
1000年以上続く産地の歴史

産地の織物は、967年に発行された延喜式に登場します。富士吉田・西桂を総称した「郡内」で織られた織物は「郡内織物」や「甲斐絹」として知られ、夏目漱石著「虞美人草」に登場するほど人々に親しまれてきた織物産地です。



ここだから出来る織物の特徴

天然繊維の中でも最も細い糸であるシルクを使った高級織物産地として栄えてきました。富士山の天然水を使って色鮮やかに染めた扱いの難しい細い糸を使い、きめ細かく上質な質感を織り上げる技術は世界トップクラスです。



富士吉田・西桂エリアまでの交通手段

東京から電車

富士吉田へ新宿駅-(JR中央本線1時間40分、特急60分)-大月駅-(富士急行線50分)-「富士山駅」「月江寺駅」「下吉田駅」
西桂へ新宿駅-(JR中央本線1時間40分、特急60分)-大月駅-(富士急行線35分)-「三つ峠駅」

東京から車

富士吉田へ①東京-(中央自動車道90分)-河口湖IC②東京-(東名高速道路90分)-御殿場IC-(国道138号山中湖方面20分)須走IC(東富士五湖道路25分)-富士吉田IC
西桂へ東京-(中央自動車道80分)-都留IC-国道139号線富士吉田方面20分

東京から高速バス

富士吉田へバスタ新宿-(中央高速バス【新宿-富士五湖線】1時間45分)-「中央道下吉田バス停」または「富士山駅バス停」
西桂へバスタ新宿-(中央高速バス【新宿-富士五湖線】1時間40分)-「中央道西桂バス停」

山梨ハタオリ産地の「今」を伝えています。 <http://hatajirushi.jp>

ハタ印



運営 ハタオリマチのハタ印プロジェクト (事務局: 富士吉田市産業観光部商工振興課) 住所 山梨県富士吉田市下吉田 6-1-1 電話 0555-22-1111 (代表)

観光地ハタオリマチの魅力

富士山に囲まれた驚くほど美しい自然、思わずシャッターを切りたくなる街並み。ハタオリ文化が息づく飲み屋街“西裏”、地元で愛される“吉田のうどん”など魅力が溢れています。

日本一の絶景です!!
富士山
新倉山浅間公園内
インターネットで「JAPAN」と画像検索すると、この忠霊塔の景色が出てくるとか。四季折々美しい景色を見ることができます!

忠霊塔
新倉山浅間公園内

桜井うどん
元染物職人の初代が始めた、煮キャベツ発祥の元祖正統派うどんを召し上げ!

西裏
新田川
機屋さんが多く訪れる馬モツ専門の飲み屋

温泉
霞之池温泉
創業安政三年の味わいがある温泉

宿泊
SARUYA
商店街の真ん中にあるホステル。デザインやアートを意識した空間で一泊

世界遺産
北口本宮 富士浅間神社
国の重要文化財である富士山信仰の元祖の神社

吉田のうどん

機織のまちに息づく人のいとなみの音が聞こえる

ハタオリマチノキオク

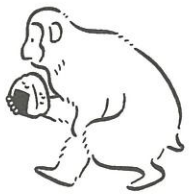
vol.01

2017 autumn
HATAORI MACHI
FESTIVAL

Hataorimachi Festival in Fujiyoshida City



Take Free



ハタオリマチ
フェスティバル
HATAORI MACHI FESTIVAL
hatafes.jp

ハタオリマチに
息づく音が
聞こえる



HATAORI-MACHI

ハタオリマチフェスティバル in 富士吉田

FESTIVAL



2017 10.7^S_T-8^S_UN TIME: 10:00-16:00 (両日とも)

会場: 小室浅間神社 / まるさくたなべ / 下吉田界限 公式ウェブサイト hatafes.jp

富士山のお膝元、富士吉田市では富士山の湧き水を使って江戸時代から織物業が育まれてきました。多品種の織物を織る珍しい産地でもあり、近年ファクトリーブランドが多く台頭してきています。当時の機屋の面影を残す建物や、機屋さんが飲みに行ったであろう路地裏の飲屋街など、このまちだからこそ残っている風情もあります。今回で2回目となるハタオリマチフェスティバルは、そんな古き良きまちの中で開催する秋祭りです。

織物工場のブランドと各地のファクトリーブランド、個人で作品を発表するクリエイターなどの合同マーケット「ハタオリ工場祭」、ハタオリのまちからも多く出てくる昔の道具や廃材などに新しい息吹を吹き込んだ、またはそのままの“古道具”を販売する「吉田のまちの道具市」の二つのお祭りを軸に、おいしいFOODの出店や音楽会、ワークショップ、まち歩きなど、住んでいる人も外から来る人も楽しめるお祭りを開催します。

物や人から伝わるハタオリマチ、富士吉田市の魅力を再発見する2日間をお楽しみください。

施設案内



ミュージアムエリア



(株)宮坂製糸所 工場見学



カイコふれあいルーム



まゆちゃん工房

まゆ人形やコサージュなどの繭クラフトと、卓上のはた織り機で手織り体験ができます。

定時解説・実演 ※申込み不要・参加費無料(要入館料)

館内ガイドツアー(定時解説)

博物館職員が館内を解説、ご案内いたします。
毎週土日祝日 10:30～, 14:00～
※混雑状況により中止の場合あり
※個人でのご案内をご希望の方は受付でお申し下さい。

フランス式繰糸機復元機の実演

毎月第2土曜日 11:00～, 14:30～
館内ガイドツアーとあわせてご覧いただけます。

※その他企画展示関連イベントについても計画しております。お問い合わせ下さい。

●開館時間 | 9:00～17:00

(製糸工場・まゆちゃん工房は
9:00～12:00, 13:00～16:00)

**●休館日 | 水曜日(祝日の場合は開館)、
祝日の翌日、12月29日～1月3日、
その他臨時休館あり**

- バリアフリー情報 | 貸出用車イス有。多目的トイレ有。
- 音声ガイド無料貸出サービス有。
- ミュージアムショップ、ファクトリーショップがあります。

〒394-0021 長野県岡谷市郷田1-4-8

Tel.0266-23-3489

<http://silkfact.jp/> シルクファクトおかや 🔍 検索

🐦 @silkfactokaya

アクセス

電車の場合
JR中央線岡谷駅下車、タクシー5分
(新宿～岡谷 特急で約2時間半)

車の場合
長野自動車道岡谷ICから車で5分
(駐車場 33台 大型車3台)



●入館料

区分	個人	団体(10名以上)
一般	500円	400円
中高生	300円	200円
小学生	150円	100円

*岡谷市内・諏訪郡内在住・在学の小中学生、岡谷市内在住・在学の高校生は入館無料。
*市内複数施設を利用できる共通入館券有。



一歴史に学び、
未来を思考創造する一
製糸工場を併設する
日本で唯一の博物館です。

岡谷蚕糸博物館
SILK FACT

企画展示スケジュール
2018年4月～2019年3月

2018
年度版

岡谷
OKAYA





>>>2018年4月15日[日]
銅、語る。～繰糸鍋の種類と変遷～

製糸用具の「繰糸鍋」には、素材・かたち・大きさに様々な特徴があります。製糸業を支えた繰糸鍋の改良の歴史をご覧ください。



2018年4月19日[木]-5月27日[日]

自然の色を纏う - 吉岡幸雄の世界 源氏物語の彩 -
人は長い間、色を自然からいただけてきました。古代の手法のままに、法隆寺や東大寺の絹織物の復元を行う「染司よしおか」5代当主吉岡幸雄氏の鮮やかな植物染めによる色彩の世界を、源氏物語に合わせてご紹介します。



2018年5月31日[木]-6月17日[日]

2018まゆクラフト作品展
毎年、胸ヶ根シルクミュージアムで開催されているまゆクラフト作品展が岡谷にやってきます！繊細で美しい繭の作品をご覧ください。



2018年6月21日[木]-9月2日[日]

ハカル 繭もカイコも糸も計る
カイコを飼育する養蚕から、繭から糸にする製糸業まで、その質や重さや長さや太さを量るためにさまざまな計器が作られ、開発されてきました。「これって何に使うの?」とフシギに思う秤を、たくさん見て、使ってみませんか。



2018年9月6日[木]-11月5日[月]

皇室のご養蚕とシルク岡谷
皇室のご養蚕の様子や日本古来の蚕品種「小石丸」の飼育が文化財の復元に役立てられていること、また皇室のご養蚕とシルクのまち岡谷との関わりなどをご紹介します。



2018年11月8日[木]-2019年4月中旬

中国古代復元絹織物展
平成10年、岡谷市は中国の「蘇州絲綢博物館」との間に学術協定を締結しました。以降、同館より提供を受けた「中国古代復元絹織物」を一挙公開いたします。



4月 2018年

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

1月 2019年

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※展覧会情報、休館日はやむを得ず変更になる場合があります。 ※最新情報はHPでご確認いただくか、直接お問い合わせ下さい。

日付 休館日 日付 フランス式繰糸機復元機の実演 毎月第2土曜日 11:00~、14:30~

天秤秤
てんびんばかり
大正時代



明治以降、蚕糸業が日本の近代化を支える一大産業となる中で、蚕糸業は生き物であるカイコが作る千差万別の繭から、画一的な製品としての生糸をつくりだすために、微量微細で精緻な単位での「ものづくり」が求められ、その品質の向上と均一化が図られてきました。そして、作業工程の中で、カイコや繭を量り、生糸を計るさまざまな計器が開発され生み出されてきました。蚕糸業の発展の背景には、計器である「秤(はかり)」があり、産業の発展の一翼を担っていたと言っても過言ではありません。そこには、秤の開発に心血を注いだ先人たちの絶え間ない努力と創意工夫が溢れています。

雌雄鑑別器
しゅうかんべつぎ
大正時代



今展示では、よりよい製品をつくりだすための蚕糸業にかかわる秤に焦点をあて、「ハカル」という計測の意味と、蚕糸業での役割と、その発展の知恵の結晶を顕彰いたします。

講演会&ギャラリートーク

7.21(土) 13:30-14:30 講演会(きぬのひろば)
14:30-15:30 職員によるギャラリートーク(企画展示室)

〔講演会〕

東洋計器株式会社 代表取締役社長 土田泰秀氏 「計量は文明の母である」

定員●60名 要申込
参加費●無料(ギャラリートークは入館料が必要)
会場●きぬのひろば/企画展示室

東洋計器株式会社は松本市に本社を持ち、明治38年から水道メーター、ガスメーター製造を行う計器メーカーで、国内最大の12,000点に及ぶ国内外の度量衡機器を収蔵・展示する東洋計量史資料館を所有しています。社長の土田泰秀氏に、「はかる」ことについて、その歴史と人間の叡智についてご講演いただきます。

蚕当計
さんとうけい
明治時代



検位衡
けんいこう
大正時代



夏休みの研究はこれでバッチリ!『はかる・わかる ワークショップ』

やってみよう!

1 カイコの、吐く糸はどのくらい? 糸の長さしらべ

7.8(日)
9:30-12:00

カイコはどのくらい糸を吐いて繭をつくるのかな。走りながら自分で繭糸の長さを体験します。さて、どのくらいの長さになるでしょう?

定員●20組 要申込
園児、小学生大歓迎!(小学3年生以下の場合は保護者同伴)
参加費●無料 持ち物●汗ふきタオル、帽子、飲料
会場●岡谷蚕糸博物館外グリーンスクエア
(雨天の場合は、きぬのひろば)



やってみよう!

2 うまくつり合うかな? 繭で海の生き物モビールづくり

8.5(日)
13:30-15:30

繭で作ったクジラやタコや魚に糸をつけて、桑の枝の左右につりさげてモビールをつくります。風にゆれて、カワイイよ。

定員●20組 要申込
つりさげるときに2人1組で行います。
(小学生の場合は保護者同伴)
参加費●500円(材料代)
会場●岡谷蚕糸博物館 きぬのひろば



やってみよう!

3 いろいろ、ハカル。カイコも繭も糸もハカル体験

8.12(日)
13:30-15:30

カイコは1ヶ月で卵から何倍の重さになるの? たくさん繭を楽に数えるには? などなど、さまざまなギモンを、実際に秤を使って量ってみましょう!

定員●20名 要申込
小学5年生以上。大人も大歓迎!
参加費●無料 持ち物●電卓、筆記用具
会場●岡谷蚕糸博物館 きぬのひろば



●館内ガイドツアー(館内を職員が楽しくご案内いたします) 毎週土・日・祝日 10:30~14:00 申込み不要・要入館料
●フランス式繰糸機の復元機 実演(富岡製糸場で実際に明治時代から使われていたフランス式繰糸機の復元機での糸取り実演) (毎月第2土曜日) 11:00~14:30 申込み不要・要入館料、館内ガイドツアーと併せてご覧いただけます

会場●岡谷蚕糸博物館—シルクファクトおかや— 企画展示エリア

開館時間●9:00-17:00

製糸工場・まゆちゃん工房は9:00-12:00/13:00-16:00

休館日●水曜日・祝日の翌日

*8月1日(水)は開館記念日につき開館・無料開放!
*8月15日(水)は開館

入館料●|一般 500円(400円)|中・高校生 300円(200円)|小学生 150円(100円)
*諏訪6市町村の小・中学生と岡谷市内に在住・在学の高校生は無料 *()内は10名様以上の団体割引料金

製糸工場を併設する、わが国唯一の博物館

〒394-0021 長野県岡谷市郷田1-4-8

TEL.0266-23-3489 @silkfactokaya

http://silkfact.jp シルクファクトおかや 検索



長野県岡谷市 地域おこし協力隊 募集します！



宮坂製糸所の繰糸の様子

シルク岡谷を世界に発信しよう！

1 地域おこし協力隊とは？

都市部から地方へ移住し、地域力の維持・強化を図る活動です。地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域支援活動を行い、将来的にその地域へ定住・定着を図る取り組みです。

2 岡谷市地域おこし協力隊募集テーマ

長野県のほぼ中央、諏訪湖のほとりに位置する岡谷市は、明治よりわが国の生糸の一大生産地として発展し、その生糸は海外へ輸出され、外国から「シルク岡谷」と呼ばれるほどでした。

岡谷市においては、国内で4工場となった製糸工場の1つである、(株)宮坂製糸所を併設した岡谷蚕糸博物館-シルクファクトおかや-を中心としてシルクのまちづくりを推進しており、養蚕・製糸・製品化の活動を中心に「オール岡谷産」のシルク商品のブランド化など地域資源を活用したまちづくりに取り組んでいただける方を地域おこし協力隊として募集します。

3 岡谷市からのお願い

日本各地で絹産業を支えてきた皆様のお知り合いで、「養蚕に挑戦してみたい！」「製糸の技術を習得したい！」「手織りの技術を学びたい！」「シルク製品の商品開発に取り組みたい！」そんないずれかの想いをお持ちの方をご紹介いただければ幸いです。

4 募集概要

募集人員：2名

期間：H31.4月～

雇用形態：採用条件等の詳細は現在調整中
6月頃より募集予定

お問合せ先

岡谷市産業振興部ブランド推進室（岡谷蚕糸博物館内）

担当：伊藤・坂本

TEL: 0266-23-3489

メール: brand@city.okaya.lg.jp



本場奄美大島紬購入費助成制度を ご利用される市民の皆様

奄美市では、本市の主要産業である本場奄美大島紬の着用を促進するため、市民の方が、本場奄美大島紬協同組合の組合員が生産した「地球印」の反物を購入し、着物等に仕立てた場合、その購入費用の一部を助成する制度を創設いたします。

ぜひ、この機会に、世界三大織物と称される「本場奄美大島紬」を購入して、その素晴らしさを実感し「紬の薫るまちづくり」の一員としてご協力下さい。

■ 補助対象者

奄美市内に在住されている方で、市税等に滞納のない方。

■ 対象となる本場奄美大島紬

本場奄美大島紬協同組合の検査を合格し「地球印」の証紙が貼付された反物で、同組合又は本場奄美大島紬販売協同組合から購入し、着物又は洋服等に仕立てたものが対象です。また、着物に仕立てる場合は着付けに必要な小物類も補助対象となります。※小売店からの購入も助成対象です。

■ 助成額

交付対象	助成額
成人式で着用するため、本場奄美大島紬の反物を購入し着物に仕立てた方	費用の40% (上限20万円)
本場奄美大島紬の反物を購入し着物に仕立てた方(新成人を除く)	費用の20% (上限10万円)
本場奄美大島紬の反物を購入し洋服、小物その他に仕立てた方	費用の20% (上限5万円)

※ただし、帯と小物類(襦袢・草履・バック・帯揚・・・)は費用上限の目安があります。

☆帯の上限目安→総額費用の30%

小物類の上限目安→総額費用の20%

～例～

総額費用が50万円の場合は、反物20万円以上(40%)、帯15万円以下(30%)、小物類10万円以下(20%)、仕立て代5万円程度(10%)となります。

■ 手続きの流れ

- ① 紬組合 or 紬販売組合 or 小売店で購入する紬などを決める。
- ② 申請書を記入し、紬組合・紬販売組合に提出する。
- ③ 紬組合から奄美市役所紬観光課に申請書が提出されると、紬観光課で交付の審査がなされる。

↓約1か月後、交付又は不交付の決定通知が送付されます。

- ④ 交付決定を受けてから購入・仕立て
- ⑤ 領収証や写真を添付して紬組合・紬販売組合に実績報告

↓約1か月後、確定通知が送付されます。

- ⑥ 確定通知と共に申請者指定口座へ助成金が振り込まれる

※何かご不明な点がございましたら、以下のお問い合わせ先又は購入を検討されている小売店あてお尋ねください。

■ 問い合わせ先

- ◎ 購入を検討されている方

本場奄美大島紬協同組合（名瀬浦上町 48 番地 1 奄美産業支援センター 1 階）

Tel. 52-3411

本場奄美大島紬販売協同組合（同番地 場所同 2 階 ） Tel. 53-5411

- ◎ 制度についてお問合せ：

奄美市役所 商工観光部 紬観光課（名瀬港町 13 番 1 号）

Tel. 52-1111（内線 1437）



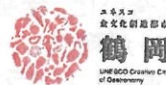
下記の目的達成に向けて、関係部署の連携のもと、H21年度にシルクタウン・プロジェクトを創設(事務局:政策企画課)

- 【目的】
- ①本市近代化の礎となった養蚕、絹織物産業、絹文化の伝統を保存・継承する
 - ②伝統を活かして絹産業の新たな可能性を磨き、地域活性化に資する

H24「鶴岡シルクタウン推進プラン」を策定

【企画部】

- ①養蚕の飼育体験と「繭人」プロジェクト
(48施設、約1400名の幼児・児童・生徒等、春蚕年1回実施)
※観光用の養蚕としては、松ヶ岡開墾場蚕室内で秋蚕も実施
- ②シルクガールズコレクション
(鶴岡中央高生による絹素材布でのファッションショーの開催など)
- ③ネットワークづくりと情報発信
(シルクサミット、研究者・デザイナー・企業等へのアプローチ等)



【農林水産部】

- ④絹産業一貫工程の存続に向けた養蚕業(桑生産含む)の再興
※H27以降、本市には産業としての養蚕が途絶えている

【商工観光部】

- ⑤松ヶ岡開墾場の観光利用
(H29.4月「サムライゆかりのシルク」が日本遺産に認定)
- ⑥一貫工程の存続に向けた絹関連企業への支援
(製糸・製織・精練・捺染・縫製が市内に存続)
- ⑦キビソ・プロジェクトの推進
(キビソ独特の素材感を活かした鶴岡シルクのブランド化)



絹産業一貫工程の存続に向けた養蚕業の再興

～背景～

戊辰戦争の敗戦後、賊軍と呼ばれた汚名をそそぐため、荘内藩の武士たちは「刀を鎌に替えて」月山山の原生林を開墾。桑園を造成し、養蚕を始め、明治10年までに大蚕室10棟を建設するなど(うち5棟が現存)、絹産業は鶴岡市の基幹産業に成長。しかしその後、時代の趨勢と共に産業としての養蚕は衰退。

◆◆目的◆◆

平成29年4月、本市養蚕文化の中心的施設であった「松ヶ岡開墾場」をきっかけとした『サムライゆかりのシルク』のストーリーが、日本遺産に認定。現在途絶えている養蚕業を再興することで、国内で唯一絹産業の一貫工程が残る自治体への復活を目指す。

※絹産業の一貫工程：養蚕⇒製糸⇒製織⇒精練⇒捺染⇒縫製

☆目標：鶴岡市内において将来的に産業と成り得る養蚕の実現

＜現状・課題＞

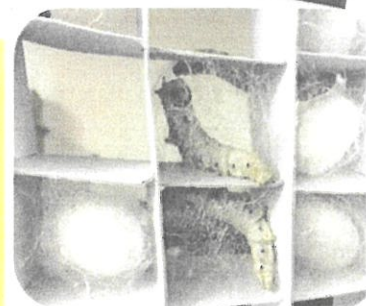
- ・農薬の影響を受けていない桑園が少ない
- ・養蚕技術保持者の減少
- ・蚕具の確保・調達が厳しい状況
- ・絹需要が減少し、単独での養蚕が成立困難

対応策



H30 鶴岡市養蚕環境整備実証事業 (予算額1,000千円)

- ①飼育舎・・・H28に統合され廃校となった旧小学校校舎の一部を活用
- ②桑園・・・飼育舎に近い中山間地域の耕作放棄地に新植・整備
- ③人材・・・かつて養蚕の指導員だった農業者を確保
- ④道具・・・松ヶ岡開墾場に残る昔の養具を再利用
- ⑤事業展開・・・複合経営の一環としての養蚕を確立するため、独自に耕作放棄地解消等に取り組んでいる「あつみ農地保全組合」に委託



kibiso [キビソ]

～キビソを活用した取り組み～

蚕が繭を作るときに最初に吐き出す糸「キビソ」の素材を生かした製品づくりが「キビソ・プロジェクト」です。キビソ独特のゴワゴワした素材感と、鶴岡の風土・歴史を感じさせる風合いに、従来の絹にはない魅力を感じた国内の精鋭デザイナーたちによる斬新なデザインが融合し、鶴岡シルクをブランド化するための取組が行われています。現在は他産地と連携したコラボ商品の開発や海外展開にも着手しています。



kibiso
tsuruoka silk

☆目標:「kibiso」※の国内外の普及による鶴岡シルクのブランド化

①新製品開発

「kibiso」の開発・販売を手掛ける鶴岡シルク(株)は、他地域のデザイナーや繊維関連業者、鶴岡商工会議所、出羽三山神社等とも連携、「鶴岡シルク」の新しい魅力を発信する各種新製品を開発しています。



②『SCRAPS:ファッション・テキスタイル・クリエイティブの再生』展

「kibiso」のテキスタイルデザインを手掛ける須藤玲子氏が、世界を代表するデザイナー3人のうちの1人に選ばれ、ニューヨークの権威ある美術館で「kibiso」のテキスタイル展示を行いました。
2016.9.23～2017.4.16

